

大好きな地球で、
ずっと暮らしたいから。

「ずっと地球で暮らそう。」を合い言葉に、
コスモ石油ではクリーン・キャンペーンをはじめ、
世界中で様々な環境活動を行っています。



南太平洋諸国支援 (ツバル)



クリーン・キャンペーン (日本)



緑化活動 (シルクロード)



野口健 環境学校 (日本)



森林・生態系回復
(中国・シンレイ山脈)



さとやま学校 (日本)



熱帯雨林保全
(バブアン・ニューギニア)



野口健 講演会 (日本)



種まき塾 (日本)



ビオトープ浮島
水辺の生態系回復 (日本)

過去の活動で撮影された写真を利用しております

あなたも、参加してみませんか？詳しくはホームページで。

コスモ石油 環境活動

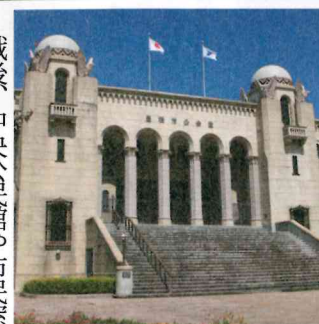
検索

記事内容のお問い合わせ、ご意見

E-mail forum@mainichi.co.jp URL http://mainichi.jp/select/seiji/forum/
TEL03-3212-5144 FAX03-3212-0560

日本の近代建築 (表紙)

豊橋市公会堂
(愛知県豊橋市)



豊橋市の市制25周年を記念して昭和6(1931)年に建てられた。設計者は静岡市庁舎本館や静岡銀行本店などを手掛けた浜松市出身の中村與資平だ。

鉄筋コンクリート造り3階建て。玄関には巨大なコリント式の列柱を並べ、両脇には羽ばたくオタカ彫刻を飾った半球ドーム屋根の階段室を配置した堂々とした構えが特徴だ。

戦後、中央公民館や市民窓口センターとして使用されていた時期もある。内部や外壁などは改修や補修を施しているが、外観やドア、窓サッシなどは建築当時のままだ。客席は601席。現在も講演会や演奏会に使用されている。98年に国の登録有形文化財に指定された。

(撮影・松田嘉徳)

◇ ◇ ◇
「日本の近代建築」を紹介します。後世に残したい全国の優れた近代建築の写真を募集します。問い合わせは編集部(03・3212・5144)へ。

編集後記

今月号特集で取り上げた「介護旅行」は、言うまでもないが介護保険の対象にはなっていない。介護保険制度の給付は増える一方で運営は厳しくなりつつあり、基本的に「生きるのに最低限度のケア」に限られるという。旅行はもちろんちよつとした気分転換のお出かけの介助も保険でカバーされることはない。

紹介した介護旅行はあくまでもビジネスから始まった。「SPIあ・える倶楽部」のトラベルヘルパー同行の基本料金は1日当たり2万数千円だ。宿泊旅行となればさらに実費の経費がかさむ。これを高いと見るか否かは人によってさまざまだろう。だがこのビジネスモデルは、高齢者の生活の「質」の向上、ホームヘルパーや介護福祉士の新たな働き場、さらに受け入れ側の観光地の活性化と雇用創出への期待——などじわじわと裾野を広げている。それは今の日本が抱える課題解決への糸口をつかんでいるからかもしれない。

介護旅行の草分けの篠塚恭一氏によると、日本の旅行会社は10年ほど前までは、介助を必要としない人でも70歳以上の人からは医師の診断書の提出を求めているという。年をとれば仕事ばかりでなく余暇としての旅行からも引退を促すような風潮があったようだ。

しかし、今や高齢者は人口規模と保有資産では社会の主役になりつつある。ビジネスとしても大切な顧客であり、家にこもりがちだったお年寄りや体が不自由な人たちが気軽に旅行に出かけられるようになれば、お金が回り、地域経済を刺激するという好循環が生まれる可能性がある。トラベルヘルパーを全国各地で養成して介護旅行の受け入れ体制を充実させれば観光地の再生にもつながる。政府の経済対策に位置付けてもいいと思う。(本谷)

発行日	毎月1回10日
発行所	株式会社 毎日新聞社 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
編集スタッフ	本谷夏樹、岩橋豊、田中公明、小野博宣
頒価	500円

定期購読に関するお問い合わせ	出版営業部 TEL03-3212-3259 FAX0120-551-012(フリーダイヤル) 定期購読は、6ヵ月3,000円、12ヵ月6,000円(郵送料込み)です。申し込みいただいた方に郵便振替用紙を送ります。その用紙を使つての購読料振り込みを確認してから送本します。
広告に関するお問い合わせ	毎日フォーラム事務局 佐藤隆司、長濱和弘 TEL03-3212-0533